

市区町村による子宮頸がん検診受診者数等（細胞診、令和2年度）

	受診者数 (人)	要精密検査 者数(人)	要精検率 (%)	がんであつ た者(人)	陽性反応適 中度(%)	がん発見率 (%)	精検未受診 者数(人)	精査未受診 率(%)	精査未把握 者数(人)	精査未把握 率(%)	精検受診率 (%)
総数	3,779,508	83,327	2.20	982	1.18	0.03	4,848	5.8	14,659	17.6	76.6
20-29歳	399,976	18,587	4.65	41	0.22	0.01	1,253	6.7	4,109	22.1	71.2
30-39歳	703,536	23,188	3.30	178	0.77	0.03	1,284	5.5	4,240	18.3	76.2
40-49歳	834,596	21,815	2.61	281	1.29	0.03	1,138	5.2	3,416	15.7	79.1
50-59歳	658,125	10,862	1.65	208	1.91	0.03	601	5.5	1,554	14.3	80.2
60-69歳	619,712	4,906	0.79	128	2.61	0.02	295	6.0	697	14.2	79.8
70歳以上	563,563	3,969	0.70	146	3.68	0.03	277	7.0	643	16.2	76.8

(注) 「要精検率」 = 「要精密検査者数」 ÷ 「受診者数」 × 100 「陽性反応適中度」 = 「がんであつた者の数」 ÷ 「要精検者数」 × 100

「がん発見率」 = 「がんであつた者の数」 ÷ 「検診受診者数」 × 100 「精検未受診者率」 = 「精検未受診者数」 ÷ 「要精検者数」 × 100

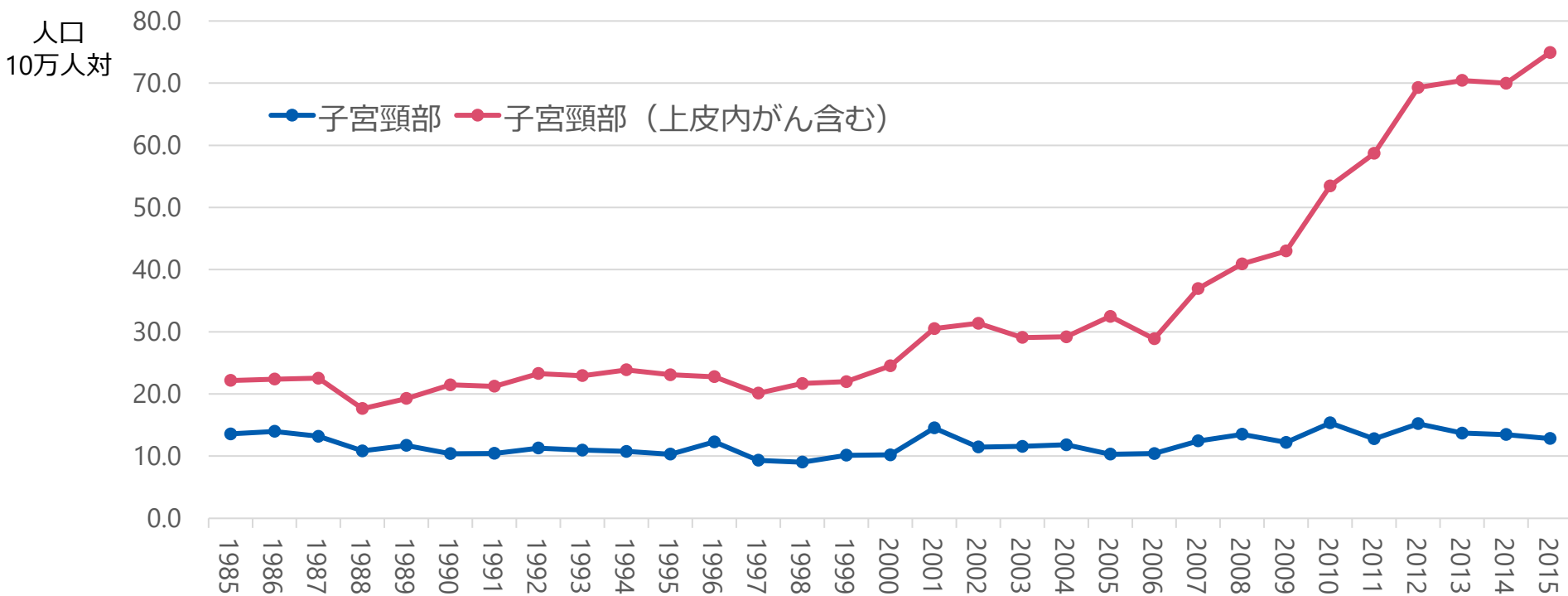
「精検未把握者率」 = 「精検未把握者数」 ÷ 「要精検者数」 × 100

「精検受診率」 = (「要精検者数」 - 「要生検未受診者数」 - 「精検未把握者数」) ÷ 「要精検者数」 × 100

出典：令和3年度地域保健・健康増進事業報告より作成

子宮頸がんの年齢調整罹患率の推移

高精度地域実測値（山形・福井・長崎各県の地域がん登録）：がん罹患年次推移データ（1985年～2015年）



子宮頸がん、子宮頸がん（上皮内がん含む）の年齢調整罹患率（女性、人口10万人対、昭和60年モデル人口）
 出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん罹患モニタリング集計（MCIJ））

全国がん登録

子宮頸がん、子宮頸がん（上皮内がん含む）の
 全国年齢調整罹患率（人口10万人対、昭和60
 年モデル人口）

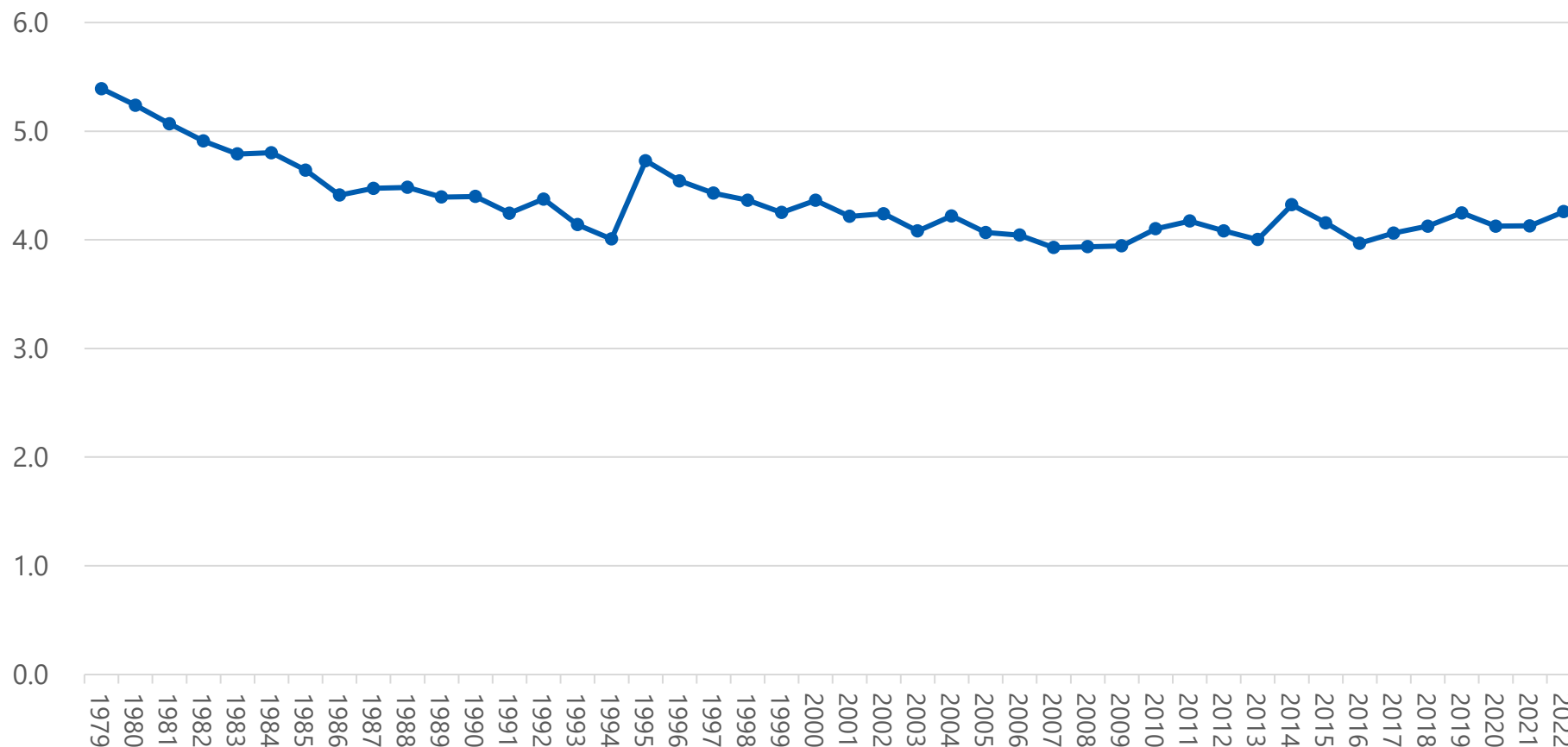
**※2016年から全国がん登録が開始されたため、
 データの連続性の観点から分けて示している。**

	2016	2017	2018	2019
子宮頸部	14.5	14.1	14.1	13.9
子宮頸部 （上皮内がん含む）	55.5	56.3	58.0	58.5

子宮頸がんの年齢調整死亡率の推移

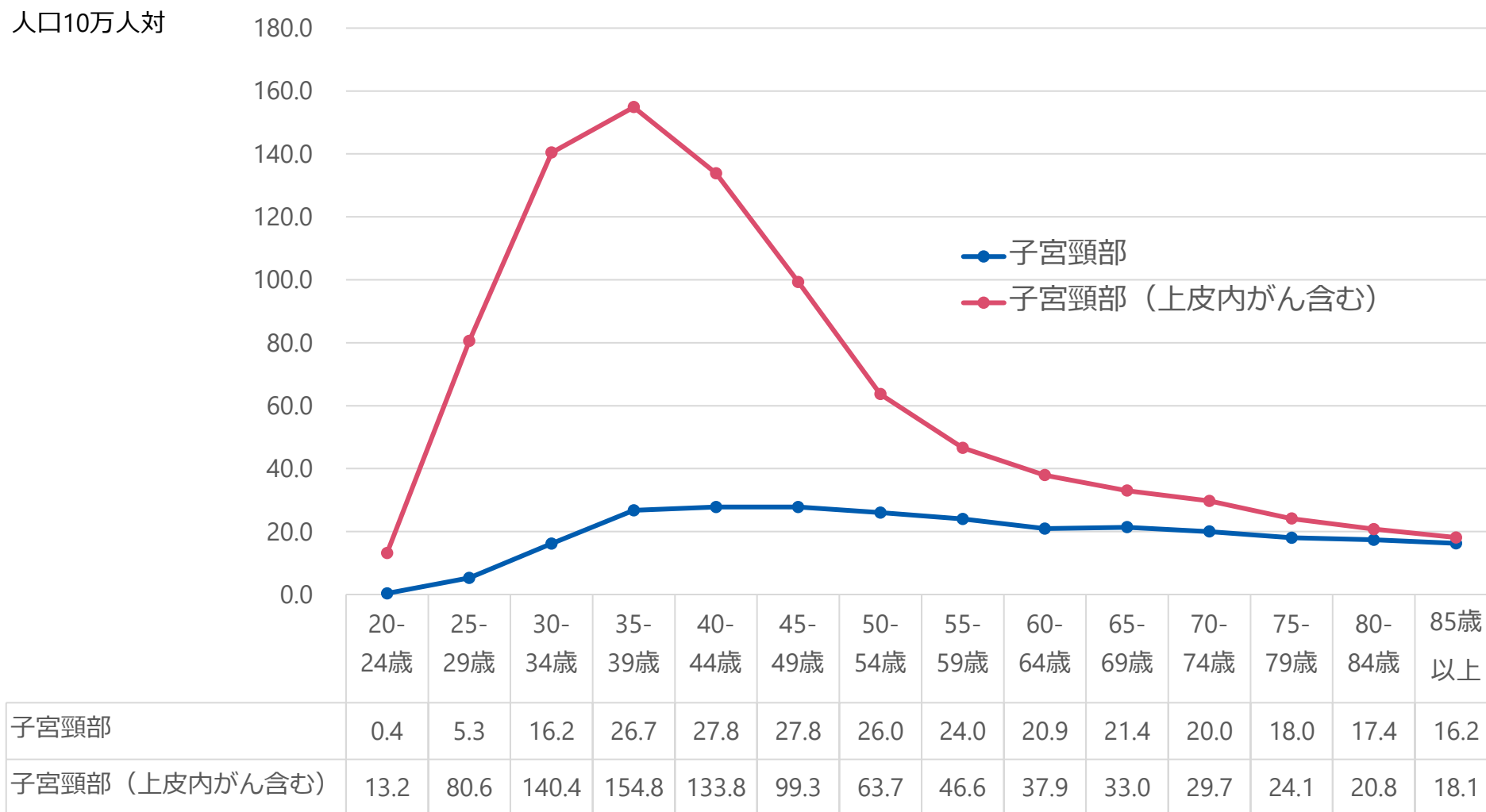
子宮頸がんの全国年齢調整死亡率（女性、人口10万人対、平成27年モデル人口、1979～2022年）

人口10万人対



子宮頸がんの年齢階級別罹患率

子宮頸がんの全国年齢階級別死亡率（女性、人口10万人対、2019年）

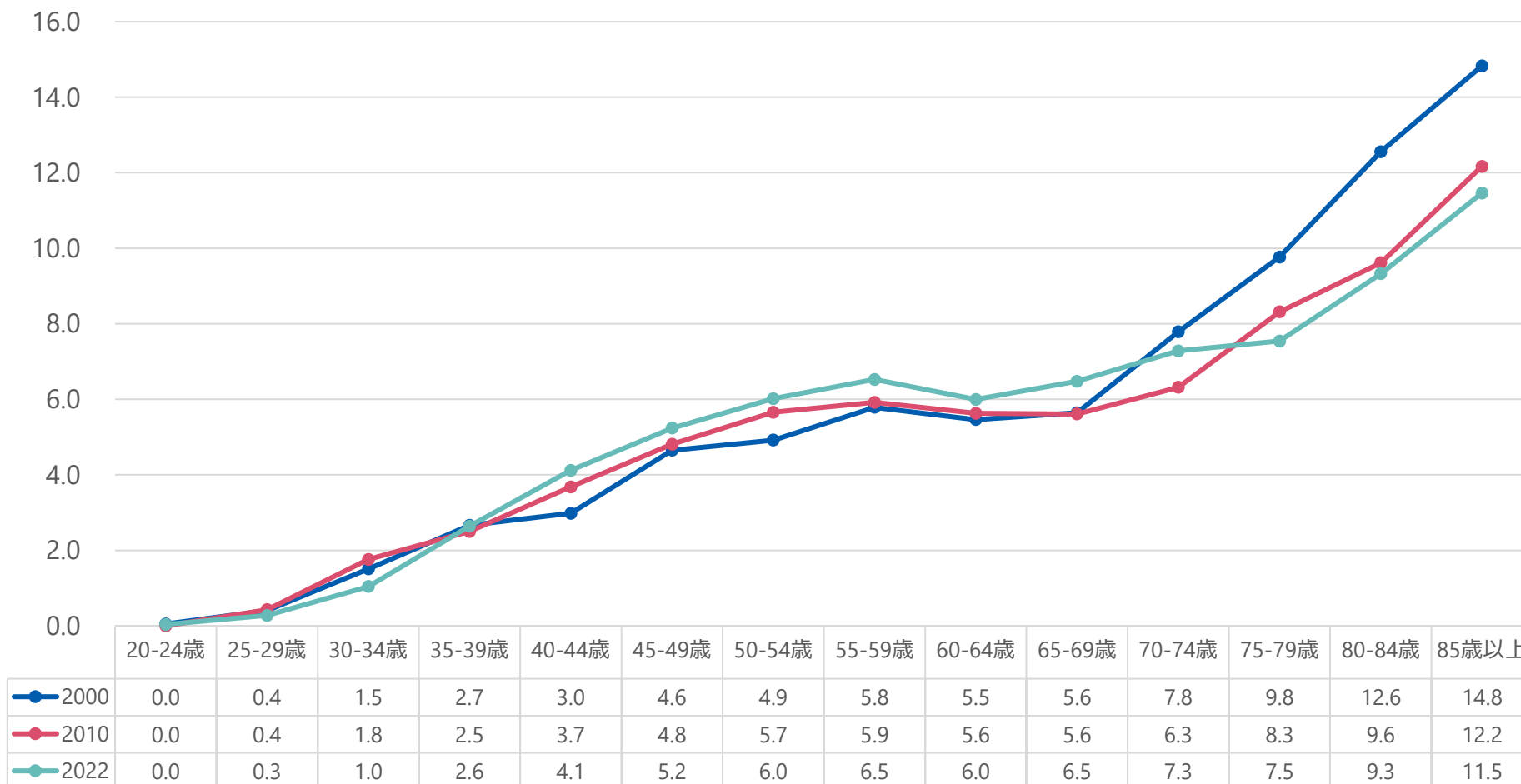


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）

子宮頸がんの年齢階級別死亡率

子宮頸がんの全国年齢階級別死亡率（女性、人口10万人対、2000、2010、2022年）

人口10万人対



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（厚生労働省人口動態統計）